

南魚沼版 CCRC の検討経過

2014. 08. 25 市長に提案 新潟県産業労働観光部 参与 河合雅樹 様
(株)三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター
主席研究員 松田智生 様
同日、国際大学、八海醸造、南魚沼地域振興局にも説明
前向きに考えることで賛同

2014. 10. 27 第 1 回勉強会 市役所本庁舎 2 階 大会議室

「CCRC」

参加者：国際大学、八海醸造、北越銀行、新潟県、新潟県健康ビジネス
協議会、市内関係者（メディカルタウン研究委員会、議会、南
魚沼市）、報道関係者 60 名程度

・「南魚沼版 CCRC のビジョン」

(株)三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター
主席研究員 松田智生 様

・「地方創生との関連性」

補助事業（調査費）が 3 つほどの候補に
特定地域再生事業、官民連携事業、その他

2014. 12. 24 第 2 回勉強会 「みんなの社員食堂」（南魚沼市長森 「魚沼の里」内）

南魚沼版 CCRC の可能性

参加者：国際大学、八海醸造、セントラルスポーツ、北越銀行、新潟県、
新潟県健康ビジネス協議会、市内関係者（女子力観光プロモー
ションチーム、地域内移住者、メディカルタウン研究委員会、
議会、社会福祉法人、南魚沼市）、報道関係者 70 名程度

・経過報告

・班別に意見交換と発表

参加者全員でワークショップ形式)

【課題】

- ①都会からの移住する元気な高齢者に対して提供できるサービス、
商品、メニュー
- ②そのうちで、現在は不足しているが、何があれば提供できるか
- ③都会から移住する元気な高齢者によって担ってほしいサービス、事
業、アクティビティー
- ④不足しているがあると良いと思われるリソースや、参加すると良
いと思われる関係者。
- ⑤南魚沼市に CCRC が出来ることで生まれると思われる若者の雇用
- ⑥居住者の視点（特に女性の視点が重要）での魅力

- ⑦居住者には価値あるもの（ありふれた日常でも、考えを狭めずに可能性を広げて

2014. 12. 27 「まち・ひと・しごと創生総合戦略について」を閣議決定

人口減少と地域経済縮小の克服

まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

政策5原則＝自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視

- ・5か年戦略（人口ビジョンと総合戦略）の策定
- ・データに基づく、地域ごとの特性と地域課題の抽出
- ・国のワンストップ型の支援体制等と施策のメニュー化
- ・地域間の連携推進

今後の施策の方向

【基本目標】

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

【政策パッケージ】

基本目標②の「地方への新しいひとの流れをつくる」の中に、

(2) 地方への新しいひとの流れをつくる」

(ア) 地方移住の推進

地方居住の本格推進（都市農村交流、「お試し居住」を含む「二地域居住」の本格支援、住み替え支援）

⇒「日本型CCRC」の検討

2015. 01. 28 サステイナブル・プラチナ・コミュニティ（日本版CCRC）政策提言

を公表

健康で元気で輝き続けるコミュニティ実現のために

今こそオールジャパンの政策を

日本版CCRCの実現と普及に向けて政策を提言

2015. 02. 18 第3回勉強会

南魚沼版CCRCの実現に向けて